

学校名	佐賀県立三養基高等学校
-----	--------------------

1 前年度 評価結果の概要	前年度は、「SAGA唯一無二の学校魅力化実践事業」の「SAGASマート・ラーニング（SSL）指定校」での取組を拡充させ、町と学校の距離を縮めた。今年度は、さらに地域との関りを深め、SNS等も活用して広報活動を充実させていく。学力の向上については、家庭学習を充実させるため、生徒一人ひとりの学習意欲の向上や主体性を育むことを目指して、課題や授業の質を高めていく取組を進める。
------------------	--

2 SAGAスクール・ ミッション 学校教育目標	【スクール・ミッション】 ○旧制三養基中学校創設以来培ってきた地域との協働による学びを深め、地域社会に貢献する人材を育成する。 ○帰国・外国人生徒等の教育拠点校として、多文化共生教育を推進する。 【学校教育目標】 平和な国家及び社会に有為の人材を育成するため、校訓「質実剛健」のもと、自主自律の精神の涵養を通して、知・徳・体の調和のとれた教育を目指す。
--------------------------------	---

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> ・三養基高校で学びたいという強い意志を持ち、学習習慣と基本的な学力を身につけた生徒を求めます。 ・教科学習、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、部活動、ボランティア活動等に、積極的に粘り強く取り組む生徒を求めます。 ・高校生活を通して自主自律の精神を養い、これからの社会に貢献していこうとする意欲を持った生徒を求めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学習を進める場面を重視し、言語能力、思考力、表現力等を育む授業を行います。 ・「総合的な探究の時間」に「地域課題研究」に取り組み、探究の手法を身につけるとともに、進んで地域に貢献しようとする心を育みます。 ・講演会や「進路研究」、担任による個人面談等を通して、自ら主体的に進路を切り開いていこうとする意識を育みます。 ・異文化や多文化共生についての理解を深め、幅広い視野と豊かな人間性を育みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに違いを認め合い、共に生きる社会を築いていこうとする態度を身につけます。 ・自主自律の精神、目標に向けて努力を貫徹する力、未知や困難に対して果敢に挑戦する精神を身につけます。 ・幅広い進路先で活躍するための、知識・技能、思考力、判断力、表現力等を身につけます。 ・社会への関心を高め、課題の解決に協働して取り組む力を身につけます。 	

4 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 自主自律と相互尊重の精神を備えた生徒の育成 ② 主体的・対話的で深い学びの充実による学力向上 ③ 社会に開かれた教育課程の推進 ④ 安全・安心な学校生活のための環境整備 ⑤ 生徒募集と広報の充実
------------	---

5 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○家庭学習の充実 ○教員の指導力向上	○学校評価アンケートの「家庭学習の取組」の項目において、良い・ほぼ良いと回答する割合を、職員・生徒・保護者すべての割合を70%以上にする。 ○家庭学習（平日）2時間以上の生徒の割合を90%以上にする。 ○授業評価の「授業は理解できていますか」の項目において「理解できている」と回答する生徒の割合を75%以上にする。	・完全下校の時間（19:20）を厳守させることで、帰宅後の学習時間の確保を図る。 ・日々の記録などを用いて生徒の生活リズムを把握し、面談などを通して学習習慣の定着を図る。 ・手帳によるスケジュール管理や振り返りを行うことで、自ら学びに向かう態度を育成する。 ・公開授業や授業研究会を実施し、指導方法や評価方法の研究を進める。
	○進路意識の啓発と進路希望の達成	○国公立大学合格者50名、近隣有名私立大学合格者100名を目指す。	・各学年で進路講演会を実施する。 ・進路検討会（3年2回）、教科担当者会（3年1回、2年2回、1年2回）、出願検討会（3年1回）を実施し、職員間での情報共有と改善策の検討を行う。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育全体計画及び人権・同和教育年間指導計画に基づいて授業や指導を行った教員の割合を90%以上にする。 ○学校評価アンケートの「人の役に立つ行動や集団の中での自分のあるべき姿を意識した行動ができた」と回答する生徒の割合を80%以上にする。	・各教科、特別活動、総合的な探究の時間、各種講演会、読書の時間、清掃活動などのボランティア活動、地域社会との関わりを深める取組など、あらゆる機会をとらえて心の教育を行う。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校評価アンケートの「SNSの利用に伴う自分の心身の健康や病気になる予防や防犯の意識は高まりましたか」で、高まったと回答する生徒の割合を95%以上にする。 ○いじめの認知・認知を法のもと適切に行い、いじめの解消を100%にする。 ○いじめの重大事態を0件にする。	・防犯講話や集会等でSNSについて注意喚起し、いじめ誘発等の原因や加害者とならないための予防的対応を行う。 ・全校集会、学年集会などの講話で、他者理解をする態度や協調性の育成を図る。 ・面談等を通して、生徒と積極的に情報共有を行う。 ・いじめの対応について研修会を実施する。
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動の推進	◎アンケートで「佐賀には誇れるところがある」と回答した生徒の割合を80%以上、「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒の割合を80%以上にする。 ◎★郷土の人材を活用した講演会を年間1回開催し、「講演会後のアンケート」で、「郷土の価値を再認識することができた」と回答した生徒の割合を90%以上にする。	・1・2学期に「佐賀語」を読む時間を「朝読書等の時間」に5日間ずつ設けるとともに、1年生は総合的な探究の時間の地域課題研究との連携も図りながら佐賀の魅力について学ぶ。 ・「さがを誇りに思う教育推進事業」を利用して講師を招聘し、全学年に講演会を実施することで、郷土の価値の再認識につなげる。
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「平均睡眠時間6時間以上」の生徒の割合を70%以上にする。 ○生徒の朝食摂取率を90%以上にする。 ○内科的症状での保健室への来室者数を前年度比で90%以下にする。 ●「健康に食事は大切である」と考える生徒の割合を80%以上にする。	・「保健・食育だより」の発行。 ・担任及び保健委員会からHRでの声かけの実施。 ・保健室入室者への個別指導。
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	・定時退勤日を毎週月曜日に設定する。 ・部活動休養日は、年間平均週2日確保する。 ・持続可能な観点から、校務分掌での業務のスリム化、効率化を図る。
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する教員の専門性が向上したと回答した教員の割合を70%以上にする。	・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・スクールカウンセラーとの連携を図り、関係者間で情報を共有する。
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体験的な学習活動の充実 ★学校の魅力発信のための体制の強化と情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合を80%以上、教職員の割合を90%以上にする。	・みやき町役場と連携したボランティア活動等と関連した教育活動を年15回以上実施する。 ・「学校魅力強化委員会」を主体として、組織的・継続的に学校の教育活動の活性化を図る。 ・HP、SNS等を活用し、学校の魅力を積極的に発信する。インスタグラムの随時更新を行う。 ・地域への貢献として年間2回の生徒会主体の全学年清掃活動を行う。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり